

# ほんごう

国立富山工業高等専門学校同窓会会報

No. 5 2001年(平成13年)10月発行

〒939-8630 富山市本郷町13番地

国立富山工業高等専門学校同窓会

発行責任者 石山 彰 雄

印刷 / 株式会社 宮越印刷



## 目次

本校に赴任して校長宮下尚	2
新常任理事より	3
教官より	3
高専体育大会の結果報告	5
事務局からのお知らせ	7
全国高校総体出場報告	8
平成13年度事業	8



会長 挨拶



いっぺんこられまあー

## ほんごう会大懇親会開催

(平成13年度総会)

11月3日(土) 午後6:00~8:00

場所 / 名鉄トヤマホテル

会費 / ￥5,000 (飲み放題)

恩師の先生方にも御案内しています。  
本年度で定年をむかえる

物質工学科 布本 貞明 先生

機械工学科 中島 孝慈 先生

が出席されます。

詳しくは富山高専 (076-493-5473) 井上教官  
FAX (076-492-3859)

E-mail: inoue@toyama-nct.ac.jp

なお出席の方は同封のはがきにて、  
10月20日までにお知らせ下さい。

多数の参加をお待ちしています。



## ご挨拶

— 本校に赴任して —

校長 宮下 尚

情報化社会にあつて、環境に優しい科学技術創造立国をめざす 21 世紀を迎えました。富山高専同窓会の皆様には益々ご清祥にてご活躍のことと存じます。日頃、本校に対し暖かいご支援とご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

本年 4 月本校の校長として赴任いたしました者でございます。前任者同様よろしくお願ひ申し上げます。

本校は昭和 39 年に創設され、同 44 年に第 1 回卒業生以来、約 5,600 人の卒業生並びに修了生を排出し、いまや社会での重鎮として、中堅技術者として社会に貢献されて高い評価を得て活躍されておられることは誠に同慶の至りに存じます。

すでにご承知のように、大学をはじめ高等教育機関は独立行政法人化とか更なる厳しい試練の時代到来のニュースに一喜一憂しています。文部科学省は本年 7 月、国立大学の「構造改革の方針」(遠山プラン)を公表し、国立大学に身を切る覚悟が求められております。高専を含め、高等教育全体の将来像を示すグランドデザインが必要とされています。

改革方針の要点は二つ、一つは国立大の再編・統合を進めることです。その結果、現在 99 ある国立大の数は淘汰を含め、大幅に削減するというもの。もう一つの要点は競争的資金を拡充し、国が特定の大学にお墨付きを与え、「国公立トップ 30 大学を世界最高水準に育成」するというものです。時代に逆行すると思いますが、国が一部を特別扱いするものです。全国 54 国立高専はユニークな高等教育機関であり、文部科学省から名

指しされてはいません。しかし例外的な聖域ではなく、理念的には大学に準ずると考えられています。

しかしながら、教育は国の重要な一大事業であり、教育そのものはなくなり、ただ競争原理がはたらき、統廃合が起こりうるということです。校長就任以来 6 ヶ月近くなり、簡単な改革・改良を試みてはおりますが、富山高専といたしましても教育改革へ向けての教職員の意識高揚を図り、一致団結して教育、研究及び管理・運営について徹底的な自己点検を行い、第三者評価を経て、改革に取り組んで行きたいと存じます。高専は College であり、大学には違いないが、一般の大学—高校とは異なることを前提にモノづくり創造教育を行う環境整備を実施し、つぎに時代の要請に応じなければならないと思っています。科学技術振興に向けカリキュラムの改革により独創性を養うモノづくり教育を充実して、ベンチャー的な新産業創成形人材養成、更には世界に通用するエンジニアの養成する事が肝要と思います。同窓生の方々へのお願いですが、愛校精神を持って母校を訪問し、そして昔をしのいで、母校にカツを入れていただきたく思います。

富山高専が更に前進をしていくためには同窓会員諸氏をはじめ、役員のかたがたのご協力とご尽力が必要であります。今後ともよろしくご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げる次第です。末筆になりましたが、同窓会の皆様がたの益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



## 「あんにゃも、一度出られまあ！」の声かけ運動

— なら、一回ぐらい出てみっか —

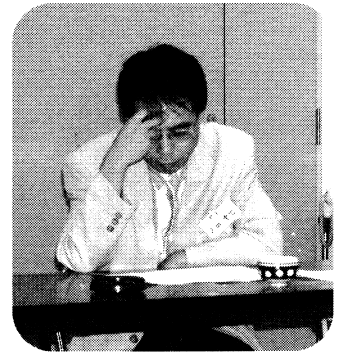
7E 天坂 幸治

同窓の皆さん、富山高専生のパスワードは「11月3日（文化の日）は富山高専同窓会総会の日です」であることを知っていましたか。「YES」と答える方は残念ながら10%もいないでしょう。

今の教育制度の中で、多感な青春時代を同じ顔ぶれで5年間も、寝起きを共にし、同じ釜の飯を食う仲間ができるのは高専だけです。この絆は生涯の友・仲間を産み、ちょっとした飲み会やクラス単位の同窓会が盛んに行われているようです。しかし、縦（同学科）横（同期）のネットワークである“学校全体の同窓会（毎年11月3日に開催している同窓会総会）”になると本当に寂しい限りの参加です。距離、時間、仕事等の物理的問題や「群れるが嫌い」「何のために」「知らなかった」とか色々な理由で参加できない、又は参加されない方が多いわけですが、一度でいいですから出席し、恩師、先輩、同輩、後輩そして現役の学生と交流すれば、これからの人生が豊になる何かを得ることに違いありません。

これを読んだ方、特に富山在住の方は、これを機会に今年の同窓会総会に「なら、一回ぐらい出てみっか」と出席していただけることを期待しております。と同時に周りの同窓生に「あんにゃも、一度出られまあ！」とは是非声をかけていただけるよう節をお願いします。この一言の声かけ運動が大きな輪になることを夢みております。

卒業以来、ずーっと富山に居て、愛する郷土“とやま”を守っている電気工学科7期の天坂でありました。（私事で紙面をお借りして大変恐縮ですが、同期の皆さん、久しぶりです。元気にやっていますか？たまにはお便りください。Eメール amayuki 0328@yahoo.co.jp）



## 退職をひかえて

物質工学科 布本 貞明

卒業生の皆さん如何お過ごしでしょうか。私は、昭和40年4月に本校に赴任しまして、それ以来37年の永きに渡りお世話になってまいりましたが、いよいよ定年退職の日が近づいてまいりました。赴任以来、長い間本校発展の様子をじっと見てまいりました。そしてこの間多くの学生の皆さんと出会いがあり、また、担任を通算18年間務め、担任を通して多くの御父兄の方々との出会いがありました。高専の歴史と共に歩み、この間種々の記念すべき行事、種々の出来事、週五日制移行に伴う準備・カリキュラム改定等に遭遇し、また、学生の皆さんと共に過ごした37年間は、大きな喜びと感動の歳月でした。本校での思い出はたくさんありますが、何と言っても創立間もない工業化学科の

立ち上げに、当時の学生の皆さんと共に教職員力を合わせ奮闘した日々が懐かしく思い出されます。また、担任として5年生の進路指導は、何度も経験しましたが、特に、昨年度の就職指導は、長引く経済不況の中で取り分け女子学生の皆さんにとって「超氷河期」が続く中での就職戦線、それを無事乗り切ってお蔭様で全員内定させて頂いて、今は楽しい思い出として心に残っています。

最後に、卒業生の皆さん21世紀を迎え厳しい時代を迎えています。大いに創造力を発揮されて、この厳しい時代を乗り切りたいと思っています。皆さんの益々の御発展と御多幸を祈ってやみません。



## 会員名簿を見て思うこと

機械工学科 中島 孝慈

私の手元に2冊の会員名簿がある。以前のものに比較すると体裁も整い、同窓会名簿に必要な情報は網羅されている。開いて目にとまるのはやはり担任、卒研、部活動で関わった卒業生のところである。10年近く前の卒研生は氏名の最初の一文字が誤字であるため50音索引も別のところに載っている。本人のルーズさによるのだと思うが、勤務先が2冊とも空欄であるのは気になる。もう一つ、資金源でもある広告の掲載ページが3分の1以下に減っているのも気になる。

同窓会の発足は昭和44年となっているので、私が赴任した昭和56年には同窓会自体も若かったが今では会員数も増え、幹部の年代ではみんな職場の第一線で活躍している。同窓会事業も相応して拡大し、会報の発刊、母校後輩に対する各種支援などをバランスよく展開している。教官としてUターンしている会員も10名に近い。名簿には現れないが、専門分野の知識を後輩学生に提供している会員も多い。皆さんのご活躍を祈ります。



## 「 雑 感 」

機械工学科 中村 良

89年4月富山工業高等専門学校に赴任。初めて富山の地を踏んだのはその年の1月であった。以来13年。定年により、残り数ヶ月で富山を去る。

心に残るであろうことは数々ある。真っ白に輝く立山連峰、それを背景にした校庭の満開の桜、朝、雉の鳴き声で目を覚まし、＜静かな湖畔＞まで行かなくても、宿舎から学校までのわずかの距離を歩いている間に耳にする郭公の声、＜蛍の光、窓の雪＞を納得させる雪灯り、これらは今以て新鮮である。

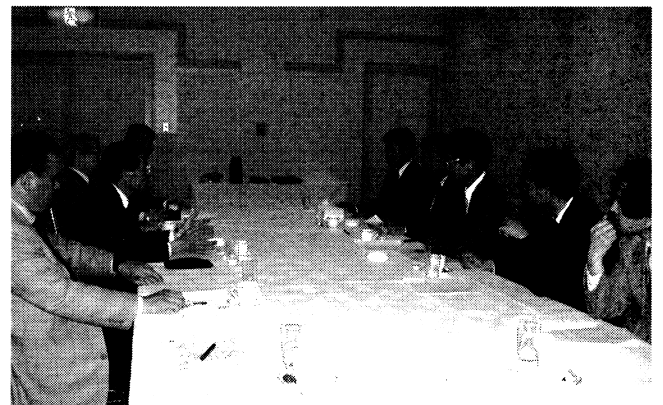
驚きと戸惑いもあった。一年365日、そして多分開校以来屋上ではためいている日の丸。これは如何なる意志の表明なのだろうか。授業の前の＜気をつけ・礼＞。

さあ始まるぞという挨拶だと解ってはいても、集団でやられると受け手としては背中がムズムズする。従って自分の授業ではそれを省略し通したが、何の支障もなかったと思う。

小学（国民学校）1年の夏休みに終戦を迎え、学校の様子が大きく変わった。教育勅語を聞いた最後の学年であり、教科書の不適切な記述の部分を墨で塗りつぶすことも経験した。教育勅語の再評価を表明する指導者が現れる世の中、それが現場に入ってこない内に学校を去ることが出来てホットしている。最後に、これからしばらくは変動期になると思うが、卒業生諸子のご健闘を祈る。



定 時 理 事 会



教育後援会との懇談会

第36回全国高等専門学校体育大会

柔道	団体	1回戦敗退	個人	90kg超級	準優勝	吉田達郎
水泳	メダル	女子 100M	平泳	2位	東福麻央	1分24秒98
		男子 200M	平泳	2位	林武志	2分44秒39
	入賞	男子 200M	自由	5位	草野調孝	2分12秒51
		女子 50M	バタ	7位	瀬川縁	35秒25
		男子 400M	自由	4位	山本奨悟	4分50秒28
		女子 100M	自由	7位	中村紘子	1分10秒46
		男子 100M	平泳	5位	林武志	1分15秒94
		女子 50M	背泳	7位	森下めぐみ	38秒11
	総合	6位				
バドミントン	団体	3位				
陸上	得能彰	走幅跳び	6M53	6位	得能彰	三段跳び 13M37 3位
サッカー	2回戦敗退	優秀選手賞	GK	野村豊		

第36回北陸地区高等専門学校体育大会

期日 平成13年7月14日(土), 15日(日) (前大会 6月23日(土), 30日(土), 7月7日(土))  
 主管校 福井工業高等専門学校  
 成績

校名	富山高専	石川高専	富山商船	金沢高専	福井高専
得点	27	33	18	9	25
順位	2	1	4	5	3

陸上競技 総合2位 男子 4×100mR 2位 池本孝之・高島悠・本田大輔・得能彰  
 4×400mR 2位 星野善郎・得能彰・本田大輔・高島悠  
 110mH 1位 高島悠 (大会新)  
 走幅跳 2位 得能彰  
 走高跳 1位 安田吉宏  
 三段跳 1位 得能彰 2位 安田吉宏  
 女子 走幅跳 2位 鶴山敦子  
 砲丸投 2位 鶴山敦子

男子バレーボール 3位 男子バスケットボール 2位 男子テニス 4位  
 女子バレーボール 4位 女子バスケットボール 2位 女子テニス 4位  
 野球 4位 サッカー 1位  
 男子卓球 3位  
 個人シングルス 3位 清水和宣  
 男子バドミントン 1位  
 個人シングルス 1位 新村六平 2位 高田友哉 3位 松澤知紀  
 個人ダブルス 1位 松澤知紀・沢井陽介 2位 高田友哉・中西亮  
 3位 山林和也・有沢誠人  
 女子バドミントン 2位  
 個人シングルス 2位 酒井かおり  
 個人ダブルス 3位 中川いづみ・中尾和美

水泳総合		1位			
(男子)					
50m	自由形	1位	山本英世	3位	ドディック
100m	自由形	2位	草野調孝		
200m	自由形	1位	草野調孝	2位	西尾淳志
400m	自由形	1位	山本奨悟		
800m	自由形	2位	山本奨悟		
100m	平泳	1位	林武志		
200m	平泳	1位	林武志	2位	石原真吾
400m	フリーリレー	1位	山本英世・山本奨悟・西尾淳志・草野調孝		
400m	メドレーリレー	1位	山本英世・林武志・山本奨悟・草野調孝		

## (女子)

50m	自由形	2位	森下めぐみ		
100m	自由形	1位	中村紘子		
100m	平泳	1位	東福真央	2位	中村紘子
200m	平泳	1位	東福真央 (大会新)		
50m	バタフライ	1位	瀬川縁		
50m	背泳	1位	森下めぐみ	2位	瀬川縁
400m	フリーリレー	1位	森下めぐみ・瀬川縁・東福真央・中村紘子		

剣道 3位

男子柔道 1位

60 kg級	1位	中谷準平	2位	尾塩縣	3位	北森一範
73 kg級	1位	北本陽一	2位	重杉輔		
90 kg級	1位	稲村浩一	2位	伊井義人	3位	前坂雅博
90 kg級級	1位	吉田達郎				

女子柔道

52 kg級級 1位 杉政友理

ラグビー 4位

ハンドボール 3位

## その他の大会及び表彰

第37回富山県高校将棋選手権大会 準優勝 志村将臣

第14回高校将棋竜王戦富山県大会 三位 志村将臣

近畿・東海・北陸・信越地区高等専門学校弓道大会

団体の部 準優勝 Aチーム 辺城, 若林, 作田, 永井, 藤江

女子団体の部 準優勝 森田, 木村, 前田

第34回全国高等専門学校サッカー選手権予選 北信越大会 優勝

全日本吹奏楽コンクール富山県大会 銀賞 富山工業高等専門学校

全国高等学校総合文化祭囲碁部門出場

団体戦 大上修司 2勝4敗

個人戦 大上耕平 2勝4敗

献血功労者 厚生労働大臣表彰 富山工業高等専門学校

事務局からのお知らせ

◎クラス会の助成制度について

同窓会では今年度よりクラス会の助成制度を設けました。この制度は会員間の交流を活性化することを目的としています。助成を受けることができるのは次の条件を満たしているクラス会です。

- 同じクラスの会員が10人以上そのクラス会に出席すること。
- 助成は1つのクラスにつき年に1回のみです。
- 助成の申請はクラスの理事を通して行ってください。  
各クラスの理事は次の表のとおりです。
- 助成を受けた場合にはクラス会の報告書とクラス会の様子を写した写真を提出してもらいます。
- 申請はクラス会を行った年度内なら可能です。
- 助成金は原則として定例理事会にて交付します。理事か代理が出席してください。
- 助成は年間10件程度とします。

◎助成金申請方法

助成金の申請は次の項目を記載した申請書と写真を同窓会事務局へ持参してください。

- クラス名 (M3, CK2のように)
- クラスの理事名と捺印, 理事の連絡先 (FAXかE-Mail)
- クラス会参加者名
- クラス会の様子など (400文字程度)
- クラス会のときの様子を写した写真 (添付)

申請書の書式は特に定めませんが同窓会のホームページに雛形を置いておきますのでそれを利用してくださって結構です。

同窓会理事名簿

卒業年	回	氏名	回	氏名	回	氏名	回	氏名
1969	M 1	後明 康孝	E 1	田中 正人	C 1	長谷川 登		
1970	M 2	永森 真一	E 2	大巻 憲五	C 2	清田 幸造		
1971	M 3	石山 彰雄	E 3	中島 潔	C 3	飛世 修		
1972	M 4	丸山 治久	E 4	木村 正人	C 4	柴 基雄		
1973	M 5	山崎 秀一	E 5	高木 正之	C 5	小川 和男		
1974	M 6	布村 敏夫	E 6	金子 信一	C 6	水林 幸雄	K 1	川井 祐賢
1975	M 7	寺井 達郎	E 7	天坂 幸治	C 7	広野 勉	K 2	宮崎 喜信
1976	M 8	宮越 成幸	E 8	富川 功	C 8	松永 政次	K 3	青木 宏志
1977	M 9	浦田 敏明	E 9	池上 久晴	C 9	牧野 啓行	K 4	磯野 忠
1978	M10	浅地 暁夫	E10	秋田 年哉	C10	永代 尚武	K 5	金井 毅俊
1979	M11	川開 国夫	E11	吉田 守	C11	長江 真司	K 6	中川 泰造
1980	M12	藤田 秀人	E12	深山 信一	C12	長越 進	K 7	福田 稔昭
1981	M13	木下 伸治	E13	開田 康浩	C13	八橋 謙二	K 8	奥野 耕市
1982	M14	松本 吉明	E14	高橋 靖人	C14	坂本 智司	K 9	菅野 英雄
1983	M15	田嶋 実	E15	佐藤 桂	C15	高松 雅春	K10	北島 博之
1984	M16	清水 龍人	E16	佐野川広嗣	C16	森川 光雄	K11	井上 誠
1985	M17	森川 幸夫	E17	中川 泰	C17	松原 重雄	K12	山本 肇
1986	M18	坪川 幾夫	E18	沢井 博明	C18	浅井 清	K13	山本 高志
1987	M19	副島 悟	E19	竹林 望	C19	山西 誠	K14	藤井 義昭
1988	M20	山野 茂	E20	新村 努	C20	柴野 勝宏	K15	山口 正志
1989	M21	西野 一也	E21	柿岡 史恭	C21	竹内 輝紀	K16	長谷川雅一
1990	M22	河原 治	E22	鎌仲 秀一	C22	栃折 智之	K17	清水 政孝
1991	M23	五島 康	E23	黒崎 勝彦	C23	佐伯 隆司	K18	広本 浩一
1992	M24	阿部 剛	E24	横井 英之	C24	荒井 毅宏	K19	高畑 英夫
1993	M25	日尾 武志	E25	久世 晃司	C25	久才 慎一	K20	藤丸 陽一
1994	M26	西野 武弥	E26	高柳 良太	C26	浅川 典昭	K21	藤岡 剛
1995	M27	米澤 正昭	E27	上田 智美	C27	吉田 功	K22	近藤 智幸
1996	M28	瀬戸 賢二	E28	藤原 健二	C28	堀井 哲朗	K23	藤井 濟
1997	M29	桑下 茂雄	E29	澤木 啓之	C29	川辺 真弘	K24	河下 竜世
1998	M30	高野 正章	E30	堀 宏美	C30	村中亜由美	K25	水林 舞
1999	M31	石田 敏晶	E31	佐藤 和也	C31	北尾 敦克	K26	川口 健治
2000	M32	菓子 貴晴	E32	山口 良博	C32	窪田 直彦	K27	高崎 慎一
2001	M33	松永 友宏	E33	荒井 秀允	C33	枝廣まゆみ	K28	水林 飛鳥

専攻科

卒業年	回	氏名
1995	ME 1	坂井 歩
1996	ME 2	道用 浩樹
1997	ME 3	中水 康之
1998	ME 4	稲永 聡
1999	ME 5	佐竹 克夫
2000	ME 6	西野 武弥
2001	ME 7	武埴 佳人
1995	CK 1	古井 秀行
1996	CK 2	高稲 直宏
1997	CK 3	西島 昭弘
1998	CK 4	矢野 祥子
1999	CK 5	前田 功一
2000	CK 6	児玉 知子
2001	CK 7	岩井 徹哉

役員名簿

	回生	氏名
会長	M3	石山 彰雄
副会長	E4	木村 正人
副会長	E6	金子 信一
常任理事	C6	水林 幸雄
常任理事	M6	布村 敏夫
常任理事	E7	天坂 幸治
常任理事	M8	宮越 成幸
常任理事	K8	奥野 耕市
常任理事	E15	佐藤 圭祐
常任理事	K11	井上 誠
常任理事	C21	畔田 博文
監事	C3	米谷 正
監事	M14	本江 哲行

理事に連絡がつかなかったり忙しくて手続きをしている暇がない、というときには下記の方法で理事を交代することができます。

1. 理事を交代したいとき。

- 新しい理事を選んで新理事と旧理事が連名で同窓会事務局まで交代する旨を書面で伝えてください。

2. 理事に連絡がつかないとき。あるいはまだ決めていないとき。

- 理事をやってもよい人は同窓会事務局まで書面で伝えてください。



## 全国高校総体“ひのくに新世紀総体”出場報告

陸上部顧問 本江 哲行

8月1日から20日まで、熊本で開催された全国高校総体“ひのくに新世紀総体”に、大会の陸上競技に出場する選手とともに行ってきました。

高専生の高校総体の出場が5年前から可能となり、ここ最近では、本校の陸上部部員も県の高校総体で入賞し、北信越高校総体まで進む状況にありましたが、後一步のところで全国高校総体（インターハイ）に出場することができませんでした。昨年シーズンオフより、全国高校総体を目標に学生が練習を重ねた結果、今年、念願の全国高校総体の出場権を2名の学生が勝ち得ました。1人は、3年機械工学科、安田吉宏君、種目は走り高跳、ベスト記録は1m97cm。もう1人は、3年環境材料工学科、高島悠君、種目は110mH、ベスト記録は、15秒13です。



陸上競技は、8月2日から6日までの5日間、熊本県民総合運動公園陸上競技場で行われました。試合期間中は日本中が猛暑に包まれている真っ最中で、競技場の気温が連日36℃を越え、グラウンド温度は40℃以上に達し、短距離種目のようにスタート時にグラウンドに手を着く競技は、火傷を防止するために、水を張ったバケツが用意されるほどであった。

インターハイの雰囲気は独特のものがあり、競技場では、応援の生徒、父兄の他に、各大学、各実業団チームのスカウトマンで、観客席が満員であった。また、オリンピック選手も大勢駆けつけていた。このような大舞台で、試合に臨めることは、選手にとって大きな

幸せであるとともに、大きなプレッシャーが押し掛かり、実力を発揮しないで終わる選手が多く見うけられた。本校陸上部の2選手は、前日までは、緊張と暑さで体の動きが悪かったが、試合当日は、適度の緊張感を持続した状態で試合に臨み、ほぼベストの記録を出していた。顧問として、彼らが逞しく見え、喜びを感じる瞬間であった。

結果としては、予選を通過することができなかったが、インターハイの出場の経験は、彼らのこれからの人生に大きな自信を与えるものになると思います。

最後に、今回の全国高校総体出場及び、部活動に関して、同窓会より補助金をいただきありがとうございました。同窓会の皆様には、今後とも、御支援、御指導のほどよろしくお願ひします。



### 平成 13 年度事業

- 6月 定時理事会
- 11月 同窓会総会（名鉄トヤマホテル）
  - ・志望祭助成
  - ・クラブ活動助成
  - ・会報発行
  - ・卒業祝賀会（教育後援会とともに主催）
  - ・新理事へ活動助成金進呈
  - ・クラス会助成



◎ 富山高専ホームページアドレス  
<http://www.toyama-nct.ac.jp>

◎ 富山高専同窓会ホームページアドレス  
<http://www.toyama-nct.ac.jp/OB-OG/>

◎ 「ヒューマンネットワーク高専」  
 ホームページアドレス  
<http://www.hnk.or.jp/>  
 E-mail: [miyahnk@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:miyahnk@cocoa.ocn.ne.jp)